

平成29年度 生徒・保護者からのアンケート結果について

1 授業についてのアンケート

(1) 良い点

- ①全体として肯定的な回答が多い。ほとんどの教科ですべての項目に対し、肯定的な回答が90%以上である。
- ②5教科の「授業中、生徒の考える時間や発表する時間をとっていましたか。」に対して、すべての教科で肯定的な回答が90%以上であり、昨年と比べて2%から8%、一昨年と比べると7%から13%伸びている。このことは新学習指導要領で求められている「主体的・対話的で深い学び」を目指した授業を行おうとしていることの表れだと考える。

(2) 改善点

- ①同一の質問に対して、同じ教科でも学年によって、肯定的な回答にばらつきがある。
- ②「黒板の使い方を工夫している」に対して肯定的な回答にばらつきはあるが、昨年と比べ、ほとんどの教科で5%以上伸びている。各教員が、足立スタンダードに即した授業を心がけているためと考えられる。

2 学校についてのアンケート（生徒の皆さん）

(1) 良い点

- ①「健康で安全な学校生活を送っている」「挨拶などの基本的な生活習慣や学校のきまりを守るようにしている」「学校施設を大切に使うよう心がけている」への肯定的な回答が、どの学年も90%以上である。基本的な生活習慣や規範意識がよく身についていると考えられる。
- ②「相手を尊重し互いに協力しあう友人関係を築いている」「いじめをしない、させないように心掛けている」への肯定的な回答が90%以上である。特に3年生はいずれも95%以上であり、よい人間関係を築くとともに、周囲の友人を大切にしようとする心が育っていると考えられる。
- ③「将来を考え、進路について友人や先生と話したりする」は学年が上がるにつれ肯定的な回答が10%以上伸びている。中学校の生活に慣れるとともに、教員や友人との人間関係が築けている結果と考えられる。さらに上級学年になるにつれ、中学校卒業後の進路について考える機会が増えていると考えられる。
- ④「授業を意欲的に熱心に受けている」に対して、ほとんどの教科で肯定的な回答が85%以上である。またそこまで達していない教科も85%まであと1%未満である。

(2) 改善点

- ①「目標をもって学校生活を送っている」「将来を考え、進路について友人や先生と話したりする」に対して肯定的な回答は80%に到達しなかった。しかし前者はこの2年間で約3%ずつ上昇している。これはキャリア教育の考え方に基づき、自己理解を柱にした3年間の進路指導を計画的に行い、学ぶ目的を理解させることによって、将来への希望をもたせ、目標に向かう姿勢を育成する進路指導を継続してきた結果であると考えられる。後者については(1)③のとおりである。さらにキャリア教育に基づいた教育活動を進めていく必要がある。
- ②「先生と色々な話をしたり相談をしている」に対しての肯定的な回答が、3年生は80%に達しているが、他学年は十分とは言えない。スクールカウンセラーの活用を含め、教育相談活動の充実が必要である。3年生は進路相談を含め、担任をはじめ学年の教員との相談活動が進んでいると考えられる。
- ③「先生と協力し、より良い学校を作ろうとしている」に対して、3年生は81%であるが、他学年は70%弱である。3年生が手本となって作り上げてきた良き伝統を下級生が受け継げるよう、委員会活動や係活動等に力を入れていく必要がある。

3 学校についてのアンケート（保護者の皆さん）

(1) 良い点

- ①ほとんどの項目で肯定的な回答が85%以上であり、学校について肯定的にとらえていただいている。

- ②「学校は健康で安全な生活を過ごせるように配慮している」「学校は生活指導に真剣に取り組んでいる」「教員は挨拶などの基本的な生活習慣や学校のきまりを守るように指導している」「学校行事はさかんに行われている」は肯定的な回答が90%以上であり、高い評価を得ている。

(2) 改善点

- ①「学校の教育目標、学校経営方針について理解している」は肯定的回答が87.8%であり、昨年度より約3%高くなっている。しかし学校選択をして四中に入学して下さっていることを考えると、皆様からもっとご理解いただけるよう努力する必要がある。学校からは月1回の学校だより、週1回の学年だよりの発行、保護者会や授業参観、道徳授業地区公開講座の開催、年2回の学校公開週間、土曜授業日の学校公開など、運動会や学芸発表会のような行事以外にも教育活動をご覧いただいたり、教育活動について考え方をお伝えしたりする場を設けていますので、ぜひ学校にお出でいただき、理解を深めていただけますようお願いいたします。
- ②「教員は部活動で意欲的に指導し、生徒も積極的に参加している」は肯定的回答が81.6%で昨年度より約5%高くなっているが、85%以上を目指して改善していきたい。運動部活動の在り方の抜本的な改革に取り組む必要があることは、新聞、ニュースなどで報道されておりとおります。生徒がスポーツを楽しむことで運動習慣の確立等を図り、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力の育成を図ることを重視して実施されるべきであるとされています。また活動内容が生徒にとって適切であり、教師の過度の負担となることがないように、必要に応じて指導・是正を図ることも学校に求められています。さらに週当たり2日以上以上の休養日を設けることや活動時間を平日は2時間程度、休業日は3時間程度とするなど、具体的に示されたことを真摯に受け止め、改善していきたいと考える。

4 アンケート全体をとおして

今回のアンケート調査をとおして、生徒からも保護者の方からも高い評価をいただいていることがわかりました。

まず生徒による授業診断では、教科や設問によるばらつきはあるものの、ほとんどの項目で90%以上の肯定的回答を得ています。また生徒の学校生活に関するアンケートから、それぞれの教科の授業を意欲的に熱心に受けている様子が見えられます。本校では、校内研修会や管理職やベテラン教員、足立区教科指導専門員、指導主事等による授業観察を日常的に行うことによって、教員の授業力を高めています。また次期学習指導要領の趣旨をふまえて、「主体的、対話的で深い学び」を実現するために授業改善を進めています。生徒による授業診断で、「授業中、生徒の考える時間や発表する時間をとっていましたか。」の項目がこの2年間で7%から13%伸びていることなどに、先生方の努力が表れていると考えます。こうした時間をつくることによって、思考力、判断力、表現力が高まってきていることは、生徒の発表の場面などで見てとれます。さらに今年度は、「論理的思考を進めるために必要な発言ルール」「論理的思考を進めるための思考スキル」を各教室に掲示し、生徒に意識させるとともに、発言や発表の際に指導を続けてきた結果、生徒会朝礼等での発言が他の生徒の手本となるようになってきています。

次に、相手を尊重する、いじめをしない等、他の人との正しい関わり方を学び、身に付けていると考えている生徒が大部分であることは大変に喜ばしいことです。3年生は特に、肯定的回答の率が高く、周囲の友人を大切にしようとする心が育っていると考えられます。3年間の中学校生活の中で、何か課題が起こったときに、学年の生徒たちが自分のこととしてとらえ、話し合っ解決してすることを続けてきた結果が、このような形に表れたと考えます。日々の教育活動の地道な取り組みの成果が表れてきたと言えると思います。

最後に保護者の皆様、開かれた学校づくり協議会委員の皆様からのアンケート結果では、大変に高い評価をいただきました。特に開かれた学校づくり協議会委員の方には毎月の土曜授業日の朝の挨拶運動をとおして、生徒の様子をよくご覧いただいております。「生徒たちがきちんと顔を見て挨拶できるようになってきました。」「挨拶の声が出るようになりました。」「学校で指導してもらって生徒たちは変わるのでですね」等、具体的な事柄をあげてお褒めの言葉をいただいております。保護者・地域の皆様と力を合わせ、より良い第四中学校をつくってまいりますので、今後ともご協力をお願い申し上げます。